

2010年度 活動計画（案）

ナルクの理念（自立・奉仕・助け合いで生きがい）を基本に置いた活動を行います。

1. 会員活動の促進

①顔の見える運営をめざします。

会員数が200名を超え、行事などの際、名前と顔が一致しないほどになってきました。分離・独立の際の「顔の見える運営」を目指すため、昨年より6つの地域会を発足させたところ、小規模で和やかな話し合いが出来ること好評を得ています。その中からの要望も「いわふねクラブ」の活動に盛り込めるようになりました。今年度はさらに地域会を拡充し、より細やかな活動を目指します。

②会員の高齢化に対応した取り組みをします。

男性69歳・女性66歳・平均67歳の状況の中、今後とも家事・介助支援の増加が予想されます。勿論、提供者増が課題となりますが、それ以上に独居の方々に対する取り組みが必要だと考えます。「意向調査」からも要望が明確になってきました。本部の今年度計画も参考にしながら、具体的な独り暮らし高齢者の見守り活動を計画してまいります。

③近隣拠点との連携を図ります。

枚方拠点と合同開催していた「秋のつどい」は、会場の収容能力等の問題があり、それぞれでの開催を検討することになりました。そこで当拠点としては、今年度より総会後の「バーベキュー大会」に衣替えをしました。その他の研修会等については今後とも連携をしてまいります。また昨年からはまった「北河内地区・拠点連絡会」に参加し情報交換等連携を深めます。

2. 時間預託活動

①家事・介助支援の活動の伸びが著しく、「いわふねクラブ」の中心的な活動になりつつあります。提供者の皆様には、ぜひ福祉施設で培った介護・介助支援のノウハウを生かして積極的な活動をお願いしたいと思います。

②会員相互扶助 V2については、「困ったな」「こんなこと手助けしてほしいな」といった場合、「こんなことは無理だろう」「やってもらえないだろう」と思わず、気軽に事務所に電話・ファックスし、担当コーディネーターと相談していただくことがこの活動の活性化につながるのではないのでしょうか。ぜひ、電話をお願いします。

③福祉施設支援については、「きんもくせい」で、新たに2名体制の曜日が入ることになり、活動時間数の伸びにつながっています。今後この傾向が進めば提供者の時間数の増加もしくは新たな提供者が必要になってきます。的確な対応をしていきたいと思っています。

3. 奉仕活動

福祉施設におけるイベント支援については、新たに特養「美来」へ参加することとなりました。以前から懸案になっていた「市内・北部」への活動施設が出来たことになり、今後近隣会員の方々の活動を期待します。

「子供安全見守り隊」の活動は今後とも継続してまいります。

市民レベルでの認知度を高めるため、11月に開催される「健康福祉フェスティバル」への参加を計画しています。昨年より実施している「エコ活動」については、他のボランティア団体と連携しプルトップやインクカートリッジの回収に取り組みます。また「天野川を美しくする会」へ参加し、環境美化活動にも取り組みます。

4. 事業活動

ナルク福祉調査センターが行う「介護サービス情報の公表」調査員活動については、委託料が減少し今後の活動については見直しを検討する必要があると考えています。また、行政からの受託事業については、現状では困難な状況ではありますが、今後積極的にアプローチすることにより事業の受託を目指します。

5. 文化・スポーツ活動

現在、「会員同士の交流と親睦を深め、健康と生きがいづくり」を目標に9クラブが組織され活動していますが、1月に実施した「意向調査」からも新たな活動を要望されている方々がおられます。会員の中から意欲を持った方たちが集まり、新クラブが結成されれば願わしいことだと思っています。

6. 事務局活動

事務局スタッフは、ナルク交野拠点の活動を推進するため、事務処理を的確に行い、活動の推進と信頼を確保します。

「会報・いわふね」は、拠点活動の現状を会員に報告すると共に会員相互の活動を紹介することに意を注ぎます。ホームページは即時性を活用するとともに、会員は勿論のこと会員以外の方たちを対象にPR性も考えアップしたいと思います。

市の福祉活動に参画するため「委嘱」を受けた委員については引き続き貢献できるよう活動します。

- ・ 交野市地域活動福祉活動計画推進協議会 委員 (21.3/5~23.3/31)
- ・ 交野市ボランティアセンター推進協議会 委員 (21.5/12~23.5/11)